

カレー、上手にできた

岐阜市で
料理教室 親子で楽しく調理

J A岐阜中央会主催の夏休み親子料理教室が27日、岐阜市石谷寺之前的J Aぎふアグリパーク鈴ヶ坂で開かれ、親子らが料理研究家の宮本和秀さんから調理の指導を受けながら、地域の食材を使ったドライカレー作りなどに取り組んだ。

J Aグループが進める「みんなのよい食プロジェクト」の啓発キャンペーンの一環で、同市を中心に小学2～6年生と保護者計10組21人が参加した。

参加者は同市産のトマトやピーマンなどを使ったドライカレー、カボチャのプリン、夏

野菜のサラダの3品に挑戦。宮本さんから食材の切り方や料理の手順などの説明を受けながら調理を楽しみ、完成後は和気あいあいと

舌鼓を打っていた。長森南小3年の小西俐美さん(8)は「包丁



料理研究家の宮本和秀さん(左)から指導を受けながら調理を楽しむ参加者。岐阜市石谷寺之前、J Aぎふアグリパーク鈴ヶ坂

の使い方を教えてもらい、上手に料理ができた」とうれしそうに話していた。

料理を味わった後、子どもたちは食農クイズやゲームを楽しんだほか、保護者を対象にした宮本さんによる食育の講義も行われた。(湯浅裕作)